



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日

上場会社名 山九株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公大
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 都賀 守常 (TEL) 03-3536-3939
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	289,293	5.7	19,132	7.1	21,844	19.0	13,881	15.5
2022年3月期第2四半期	273,656	1.5	17,865	2.3	18,357	2.2	12,021	9.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 20,923百万円(37.5%) 2022年3月期第2四半期 15,221百万円(49.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	237.31	—
2022年3月期第2四半期	201.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	490,962	266,346	53.6
2022年3月期	462,467	248,725	53.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 263,181百万円 2022年3月期 245,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2023年3月期	—	70.00			
2023年3月期(予想)			—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	579,000	4.5	37,500	8.8	40,500	14.3	26,000	14.9	444.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社 (社名) 、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	61,757,978株	2022年3月期	61,757,978株
2023年3月期2Q	3,262,135株	2022年3月期	3,261,422株
2023年3月期2Q	58,496,219株	2022年3月期2Q	59,766,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」および本日(2022年10月31日)公表いたしました「2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

「山九のユニーク」マーク



1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、原材料・エネルギー価格の高騰、新型コロナウイルス感染症の影響等、引き続き先行き不透明な状況が続きました。米国では、急激な金利上昇と物価上昇の中、底堅い企業業績を背景とした良好な雇用・所得環境により個人消費は総じて堅調に推移しました。中国では、ゼロコロナ政策による経済活動の抑制等から成長率が低下しましたが、足元では回復傾向も見られます。国内経済では、ウクライナ情勢を受けた資源価格の上昇による物価高や為替相場における急激な円安等の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の下、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,892億93百万円と前年同四半期比5.7%の増収、利益面においては、営業利益が191億32百万円と7.1%、海外の倉庫火災に伴う保険金の受け取りや、円安による為替差益の計上により経常利益が218億44百万円と19.0%、親会社株主に帰属する四半期純利益が138億81百万円と15.5%のそれぞれ増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾国際事業では、国内の海上コンテナ取扱いの増加やこれに伴うヤード内作業・保管作業が増加となりました。また、昨年度完工した東南アジアでのプロジェクト案件の剥落はあるものの、国内外での海上貨物の輸出入取扱いが好調に推移しました。3PL一般事業では、中国・東南アジアでの自動車部品・消費財等の輸送・保管作業等が堅調に推移したものの、国内では消費財等の取扱量減少がありました。構内では、国内客先の単価改定が進む一方、作業量が減少となったことに加え、海外での装置の不具合に伴う先行コストおよび、設備修繕費用の増加がありました。

以上の結果、物流事業全体の売上高は1,509億85百万円と前年同四半期比8.6%の増収、セグメント利益（営業利益）は48億82百万円と前年同四半期比20.4%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は52.2%であります。

② 機工事業

設備工事では、昨年度完工した化学プラント建設工事や重量物輸送での風力関連の建設工事等の剥落があったものの、鉄鋼関連設備の改修や更新に伴う工事量の増加がありました。メンテナンスでは国内SDM（大型定期修理工事）の工事や検査工事が増加となりました。

以上の結果、機工事業全体の売上高は1,262億89百万円と前年同四半期比2.9%の増収、セグメント利益（営業利益）は133億3百万円と前年同四半期比20.2%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は43.6%であります。

③ その他

機材・資材貸出では、国内SDMや検査工事の増加に伴う取扱量の増加や、コスト抑制により利益は増加しました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は120億18百万円と前年同四半期比1.0%の増収、セグメント利益（営業利益）は8億35百万円と前年同四半期比72.8%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.2%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,630億92百万円であり、前連結会計年度末に比べ245億49百万円、10.3%増加しました。主な要因は、作業量の増加による受取手形、売掛金及び契約資産の増加等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,278億70百万円であり、前連結会計年度末に比べ39億45百万円、1.8%増加しました。主な要因は、設備投資による有形固定資産の増加等によるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,426億90百万円であり、前連結会計年度末に比べ18億93百万円、1.3%増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払法人税・消費税の増加と社債の償還による減少との差等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は819億26百万円であり、前連結会計年度末に比べ89億80百万円、12.3%増加しました。主な要因は、長期借入金の増加等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,663億46百万円であり、前連結会計年度末に比べ176億20百万円、7.1%増加しました。主な要因は、利益剰余金および為替換算調整勘定の増加等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.4ポイント上回る53.6%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、第2四半期までの収益の実態を精査し、足元の当社グループを取り巻く経済環境等を鑑みた上で、当初に公表(2022年5月10日公表決算短信)いたしました通期の業績予想値を修正し、売上高5,790億円、営業利益375億円、経常利益405億円、親会社株主に帰属する当期純利益260億円と予想しております。

(通期 連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	563,500	35,000	35,500	23,000
今回発表予想(B)	579,000	37,500	40,500	26,000
増減額(B-A)	15,500	2,500	5,000	3,000
増減率(%)	2.8	7.1	14.1	13.0

(参考 通期 個別業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	396,900	22,900	26,400	18,600
今回発表予想(B)	407,000	25,500	30,500	21,000
増減額(B-A)	10,100	2,600	4,100	2,400
増減率(%)	2.5	11.4	15.5	12.9

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,743	51,665
受取手形、売掛金及び契約資産	182,029	196,089
有価証券	876	1,353
未成作業支出金	1,433	1,909
その他の棚卸資産	2,252	2,090
その他	9,387	10,179
貸倒引当金	△178	△195
流動資産合計	238,542	263,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	64,421	63,359
土地	58,864	58,503
その他（純額）	39,147	44,198
有形固定資産合計	162,433	166,061
無形固定資産		
のれん	755	487
その他	7,432	7,277
無形固定資産合計	8,187	7,764
投資その他の資産		
投資有価証券	25,019	24,373
その他	28,770	30,116
貸倒引当金	△487	△447
投資その他の資産合計	53,303	54,043
固定資産合計	223,924	227,870
資産合計	462,467	490,962

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,558	79,629
短期借入金	13,193	17,014
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	4,371	7,523
契約負債	1,360	1,696
賞与引当金	7,551	5,320
その他	29,762	31,506
流動負債合計	140,797	142,690
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	7,493	14,876
退職給付に係る負債	30,538	31,149
その他	19,913	20,899
固定負債合計	72,945	81,926
負債合計	213,742	224,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,715	12,715
利益剰余金	203,301	213,774
自己株式	△9,117	△9,120
株主資本合計	235,519	245,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,856	8,003
繰延ヘッジ損益	27	7
土地再評価差額金	△254	△63
為替換算調整勘定	△2,291	5,353
退職給付に係る調整累計額	4,097	3,889
その他の包括利益累計額合計	10,434	17,190
非支配株主持分	2,770	3,165
純資産合計	248,725	266,346
負債純資産合計	462,467	490,962

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	273,656	289,293
売上原価	244,583	257,929
売上総利益	29,072	31,364
販売費及び一般管理費	11,207	12,232
営業利益	17,865	19,132
営業外収益		
受取利息	80	198
受取配当金	306	599
為替差益	—	1,119
受取保険金	—	912
助成金収入	224	0
その他	539	628
営業外収益合計	1,150	3,460
営業外費用		
支払利息	239	263
為替差損	57	—
その他	361	484
営業外費用合計	658	747
経常利益	18,357	21,844
特別利益		
受取補償金	341	—
固定資産売却益	152	—
特別利益合計	493	—
特別損失		
固定資産除却損	—	191
特別損失合計	—	191
税金等調整前四半期純利益	18,851	21,653
法人税等	6,669	7,609
四半期純利益	12,181	14,044
非支配株主に帰属する四半期純利益	160	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,021	13,881

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	12,181	14,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	596	△852
繰延ヘッジ損益	△0	△20
為替換算調整勘定	2,622	7,945
退職給付に係る調整額	△178	△193
その他の包括利益合計	3,040	6,879
四半期包括利益	15,221	20,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,954	20,446
非支配株主に係る四半期包括利益	266	476

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,851	21,653
減価償却費	8,771	9,388
のれん償却額	275	277
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,323	△2,231
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△247	△345
受取利息及び受取配当金	△386	△798
支払利息	239	263
有形固定資産除却損	—	191
有形固定資産売却損益(△は益)	△152	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	3,770	△10,572
未成作業支出金の増減額(△は増加)	△219	△455
仕入債務の増減額(△は減少)	2,267	3,906
契約負債の増減額(△は減少)	528	209
その他	△7,034	1,523
小計	22,338	23,008
利息及び配当金の受取額	432	854
利息の支払額	△251	△278
法人税等の支払額	△6,791	△4,482
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,728	19,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,181	△7,719
有形固定資産の売却による収入	451	1,286
無形固定資産の取得による支出	△1,137	△823
その他	△483	△886
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,350	△8,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	25,764	38,201
短期借入金の返済による支出	△30,984	△38,644
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	15,000	—
長期借入れによる収入	—	12,760
長期借入金の返済による支出	△2,362	△1,410
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△8,206	△2
配当金の支払額	△3,629	△3,215
その他	△2,891	△3,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,311	△5,865
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,198	3,700
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	264	8,793
現金及び現金同等物の期首残高	36,250	42,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,515	51,273

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	139,075	122,682	261,757	11,898	273,656	—	273,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,003	1,587	3,591	618	4,209	△4,209	—
計	141,079	124,269	265,348	12,517	277,866	△4,209	273,656
セグメント利益	6,132	11,063	17,195	483	17,679	186	17,865

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額186百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	150,985	126,289	277,274	12,018	289,293	—	289,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,496	2,064	3,561	810	4,371	△4,371	—
計	152,482	128,353	280,835	12,828	293,664	△4,371	289,293
セグメント利益	4,882	13,303	18,185	835	19,020	111	19,132

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額111百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

地域ごとの情報

売上高

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位:百万円)

日本	アジア	北・南米その他の地域	合計
232,010	38,878	2,767	273,656

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア …… 東アジア（中国、香港、台湾、他）、東南アジア（シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他）、南アジア（インド）、中近東（サウジアラビア、他）

北・南米その他の地域…… 米国、ブラジル、欧州、その他の地域

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位:百万円)

日本	アジア	北・南米その他の地域	合計
241,103	44,045	4,144	289,293

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア …… 東アジア（中国、香港、台湾、他）、東南アジア（シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他）、南アジア（インド）、中近東（サウジアラビア、他）

北・南米その他の地域…… 米国、ブラジル、欧州、その他の地域